

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 30日

事業所名 桑の木

保護者等数(児童数) 17 回収数 16 回収率 94 %

※各欄に合計数を記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	16					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	13			3		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	3		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	15			1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14			2	ガイドラインがわかりません。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15			1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	13	1		2		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	4	8	・コロナ感染流行のため機会が少ない。	
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	15			1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	15			1		
	12 保護者等に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	11	1		4		
	13 日頃から子どもの状況を保護者等と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14	1		1		
	14 定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	15			1	・事業所内相談会で気がかりな点など質問、相談できるので助かります。 ・親では気がつかない目線からの注意点、支援方法を提案してくれるので大変感謝しております。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者等同士の連携が支援されている	9	2		5		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16	子どもや保護者等からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者等に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	13	1			2 ・お忙しい時でも先生方が親身にお話をタイムリーに聞いてくださるので、悩んだ時でもすぐに解決できることは安心です。	
	17	子どもや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	14			2		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者等に対して発信されている	9	1	1	3		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	15			1		
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	10		1	5		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	7			9		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	15	1			・いつも楽しく通わせて頂いています。以前よに何をしたかを話してくれます。 ・子どもも多く体験、経験をさせて頂けるので毎日楽しく通っています。 ・日々の成長が目に見えて感謝しています。毎日楽しいみたいです。	
	23	事業所の支援に満足している	16				・幼稚園との併用で大変成長の助けとなっているとかんじています。 ・行事に沿った家庭では実施しないこと(節分のいわし焼き)を経験させて頂き感謝しております。 ・まだ1ヶ月の利用ですが、満足しているところが多いです。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 30 日

事業所名 桑の木

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・それぞれのグループがフローアール・和室・キッチンでどこを使って活動するか互いに確認合っています。
	2	職員の配置数は適切である	6		・現在一人の指導員に3人の子どもを担当しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・毎日、掃除を朝と降園後行っています。 ・換気のため窓を開けています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・毎月、「お気づきの点」の用紙を配布、玄関にポストを設置しています。 ・ポストに入っていた物には、回答し保護者が閲覧出来るようにファイルしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・反省会、ケース会議、勉強会等を定期的に行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・モニタリングの実施、希望を記入する用紙を配布し作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・個別支援計画に沿って週案・日案を立てています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	5	・担当が考えています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・固定化しないように意識をしているが、振り返ると同じようになってしまった場合があります。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		・午前は、育てる時間・午後は子ども同士で育ち合う時間と分けています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	・事前に日案の確認をして頂いています。 ・支援の内容の確認、打ち合わせは前日に行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・毎日、反省会をしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・担当者会議に児童発達支援管理責任者が参加をしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		・緊急時対応マニュアル・緊急時の搬送先や主治医が記載されている用紙を入口に置いています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・担当者会議に出席しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・見学等の希望実施、就学支援シートの作成を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	・公園遊び時などで交流する場合があります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	・施設長が参加をしています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・コロナ禍であったため、個別支援計画を配布し確認してもらい、印とサインを頂いています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・毎月、事業所内相談会を開いています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	・感染症対策として地域住民を招待した催し物は、現在は難しい部分があります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・虐待防止研修を全指導員が受けています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。